

一般社団法人ケアの方舟 訪問カレッジ「Be Prau」（所在地：埼玉県さいたま市）

### 事業名

## 「訪問型インクルーシブ」生涯学習モデル ～『超重症児者の学び』から地域をエンパワメントするネットワーク構築～

## 事業の趣旨・目的

超重症児者に分類される方々は最も厚い支援が必要でありながら「既存の社会教育施設やそこで行われているプログラムの拡大」からのアプローチでは生涯学習に辿り着けない。「外出困難×意思疎通の難しさ」という問題から社会やコミュニティーにインクルージョンされにくい方たちの「訪問型学習支援」に多様な方々が関わることでその方のご自宅を「開かれた小さな社会」としそこに集う全ての人の生涯学習の場=“訪問型インクルーシブ”生涯学習モデルとする。そこに生まれた「ゆるやかであたたかなつながり」が地域をエンパワメントし、共生社会の足がかりとする

## 事業內容



\*地域のマイノリティーである超重症児者にいかにしてご本人主体の学びを届けるかという、ごく小さな課題に多くの「専門性と市民性」を持ち寄ることで職域や立場を乗り越えた「ゆるやかであたたかなつながり」をもたらし、地域をエンパワメントする



## 事業実施体制・連携先

目白大学地域連携事業・十文字学園女子大学  
聖学院大学・埼玉県立大学・立正大学

## 主な対象

超重症患者（重度认知损害+重度身体损害+医疗的介入）

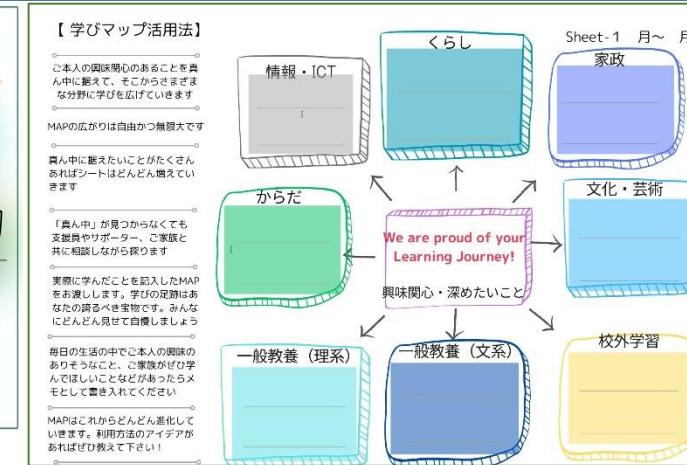
## 活動分野

### 學習(訪問型生涯學習支援)

\* 「学びマップ」活用体験ワークショップを通して“ことばによらないコミュニケーション”的方々への必要な意思決定支援などを学び、さらに障害の有無を乗り越えた「個と個の関係作り」へ発展させていく

\* 丁寧な意思決定支援と  
地域を巻き込んだICT  
機器＆アクセシビリティ  
向上の実践

### 【常づく心活用法】



\* “ご本人主体”の学習プログラム「Be Prauリベラルアーツ」の実践を「学びマップ」に記録し、学びの内容、ご本人の反応、集った人たちとの関わり、変容などの軌跡とする

## 事業終了後の目指す方向性

カレッジの実践を通して地域の中の超重症児者の存在にスポットが当たるようになる。「学び支援」はその方の望む「生き方支援」であり、「ご本人主体」の関わりから、その方の抱える問題が抽出されて、実践の中で構築したネットワークで広く共有される。それが単に制度や障害福祉サービスの問題として捉えられるのではなく、「〇〇さんの抱える問題」として考えることができる地域が育っていく。外出困難な方の自宅での小さな学びが多様な人を包摶し地域を変えていくこの事業が社会に必要とされる。

## その他



目白大学  
「訪問カレッジサポート」  
紹介動画



「Be Prauリベラルアーツ  
実践報告動画



SNS  
メール